

1 化学品及び会社情報

化学品の名称	OK袋
供給者の会社名称、住所及び電話番号	株式会社オークラプロダクツ 岡山工場 岡山県岡山市北区高松原古才630番地 086-287-3211

2 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	分類基準に該当しない。
GHSラベル要素	
・ 絵表示又はシンボル	なし
・ 注意喚起語	なし
・ 危険有害性情報	GHS分類上は、特記事項なし
・ 注意書き	GHS分類上は、特記事項なし
GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性	可燃性固体で消防法指定可燃物にあたる。 床面に残ると滑りやすい。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	PE系
慣用名又は別名	LLDPE/LDPE
化学物質を特定できる一般的な番号	25087-34-7/9002-88-4
成分及び濃度又は濃度範囲	LLDPE> 90~50% / LDPE>10~50%
官報公示整理番号	化審法(6)-18 / (6)-1

4 応急措置

吸入した場合	高温の溶融樹脂から発生するガスをひどく吸入した時は、空気の新鮮な場所に移す。 症状変化が現れた場合には、直ちに医師の手当を受ける。 被災者が呼吸していて嘔吐がある場合には、頭を横向きにする。 呼吸に関する症状がでた場合には、直ちに医師の手当てを受けさせる。 呼吸が止まっている場合又は呼吸が弱い場合には、衣服を緩め、呼吸気道を確保した上で人工呼吸(又は酸素吸入)を行う。
皮膚に付着した場合	通常は特に問題ないが、石鹼水で洗い流しておく。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受ける。 溶融物が皮膚に付着した場合は、衣服の上から大量の水をかけ十分に冷却する。 皮膚に貼り付いたポリマーや衣服は絶対に剥がさないで、直ちに医師の手当てを受ける。

眼に入った場合

直ちに正常な水で15分以上洗浄する。
洗浄の際、可能ならばまぶたを指でよく開き、眼球、まぶたの隅々まで水が行き渡るよう洗浄する。
コンタクトレンズを使用している場合には、固着していない限り、取除いて眼を洗浄する。
異物感が眼に残る様であれば、速やかに眼科医の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

水で口の中を洗浄し、コップ数杯の水又は牛乳を飲ませて、直ちに医師の手当てを受ける。
可能であれば、指を咽喉に差し込んで吐き出させる。
被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

特になし。

5 火災時の措置

適切な消火剤

霧状水、粉末消火器、泡消火器、CO₂消火器、乾燥砂など

使ってはならない消火剤

棒状に噴出する水

火災時の特有の危険有害性

火災条件下で熱分解し、空気と混合して爆発性混合気を生じる恐れがある。

特有の消火方法

火元の燃焼源を断ち、風上から大量の水、又は消火剤により消火する。

消火を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業の際は、状況に応じた保護具を必ず着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業の際は、保護具を着用し、接触及び粉塵の吸入を避ける。
こぼれた場所は、滑りやすいので注意する。

環境に対する注意事項

高温の溶融樹脂から発生するガスは、眼や呼吸器を刺激する恐れがある。
環境においては長期間分解しないため、環境汚染の原因となるが、ポリマーの水溶性は無視できるので、水性生物に対する毒性は弱いと思われる。
環境への影響を起こさないよう河川などに放出しない。
海洋生物、鳥類が摂取することを防止する為、いかなる海洋や水域でも投棄、放出してはならない。
雨風による再飛散の恐れがある場合は、シート等で覆い、下水、河川、海域等に流出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

飛散したものは、掃き集めて紙袋またはドラムなどに回収する。
掃除機が粉塵を撒き散らす元とならないように注意する。
溶融状態で漏出したときは、水等で冷却し、固化した後に回収する。
漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止し、付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
火花を発生しない安全な用具を使用する。

二次災害の防止策

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- ・ 技術的対策

防爆型の電気機器/換気機器/照明機器、及び火花を発生しない工具を使用する。
加工中、静電気を発生することがあるので、静電気除去装置を必要な場所に適宜設置する。
取扱場所は換気を良くし、その周辺での火気、スパーク、高温物の使用は禁止する。
溶剤などの引火による火災発生を防止する必要がある。
フィルム先端が鋭くなり、皮膚等を傷つける恐れがあるので適切な保護具を着用する。
重量物の場合、手足の保護及び腰痛防止の為に適切な治具を用いる必要がある。
取扱場所の近くには、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱後に手、顔等をよく洗う。
人が転倒しないように歩行域からフィルムを取り除くように留意する。
フィルムで頭や顔を覆うと、窒息する恐れがあるので覆わない。
強酸化剤、熱源、発火源との接触を避ける。

- ・ 安全取扱注意事項

- ・ 接触回避

保管

- ・ 安全な保管条件

直射日光を避け、火気、熱源から遠ざけて保管する。
強酸化剤、熱源、発火源との接触を避ける。
換気の良い冷暗所に保管し、高温多湿を避ける。
重量物の場合、荷崩れ、落下を防止する。
段積みで保管した場合、フィルム内面同士が密着し、開口性に影響が出る恐れがあるので避ける。
紙、又は段ボール包装

- ・ 安全な容器包装材料

8 暴露防止及び保護措置

保護具

- ・ 呼吸用保護具
- ・ 手の保護具
- ・ 眼、顔面の保護具
- ・ 皮膚及び身体の保護具

粉塵が発生する場合は防塵マスクを着用
保護手袋
保護メガネ
長袖の作業服、安全靴及びヘルメット

9 物理的及び化学的性質

物理状態	フィルム状個体
色	無色透明
臭い	無臭
沸点又は初留点及び沸点範囲	データ無し
可燃性	データ無し
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データ無し
引火点	データ無し
自然発火点	データ無し
分解温度	データ無し
pH	データ無し
動粘性率	データ無し
蒸気圧	データ無し
密度及び／又は相対密度	0.90～0.94 (g/cm ³)
相対ガス密度	データ無し
粒子特性	データ無し

10 安定性及び反応性

反応性	酸化剤と反応する。
化学的安定性	常温では安定で反応性に乏しい。
危険有害反応可能性	溶融等の高温では一部熱分解する。
避けるべき条件	高温、高湿雰囲気での保管、火源との接触を避ける。
混触危険物質	強酸化剤との混合、接触を避ける。
危険有害な分解生成物	炭化水素及びその酸化物。

11 有害性情報

急性毒性	データ無し
皮膚腐食性／刺激性	データ無し
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データ無し
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データ無し
生殖細胞変異原性	データ無し
発がん性	IARC: 3ポリエチレンとして
生殖毒性	データ無し
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	データ無し
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	データ無し
誤えん有害性	データ無し

12 環境影響情報

生態毒性	データ無し
残留性・分解性	環境においては長期間分解しない
生体蓄積性	データ無し
土壤中の移動性	データ無し
オゾン層への有害性	データ無し

13 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	産業廃棄物として定められた法令、規則に従って廃棄処理する。 法的規制に適合した設備と方法で焼却処理を行う。
---	--

都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に廃棄物の内容を明確にして処理を委託する。

14 輸送上の注意

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

包装材が破れないように水漏れや乱暴な取扱いを避ける。

国内規制がある場合の規制情報

消防法における指定可燃物に該当するので、同法に従って、容器・積載方法により輸送する。

15 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

消防法 第9条の3 指定可燃物「合成樹脂類（その他のもの）」3000kg以上

16 その他の情報

制約事項

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理的及び化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
このSDSは製品の工業的な一般的取扱いに際しての安全な取扱いについて、最新の情報を集めたものですが万全ではありません。
また、注意事項は通常の手配を対象としたものであるため、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。
新たな情報を入手した場合は、追加または訂正されることがあります。